



桂川の早瀬と天王山

発行日 平成 30 年 9 月 10 日
 発行元 大山崎ふるさとガイドの会(OFG)
 発行責任者 藤原 琴 二
 連絡先 大山崎町歴史資料館内
 TEL 075 (952) 6288, FAX 075 (952) 6289
 URL <http://www.kyoto-ofg.org/>

第 1 5 0 号



平成 30 年度のふるさと案内人養成講座

大山崎町歴史資料館 館長 **福島 克彦**



現在、第 9 回目のふるさと案内人養成講座が実施されております。これは、地元の文化財の案内人ボランティアを育成する講座で、大山崎町教育委員会と大山崎ふるさとガイドの会が共催で、3 年おきに実施しております。

第 1 回目は、平成 7 年度に実施されました。当時、京都府では、こうした文化財の案内人制度が普及しておらず、どのように講座を組めばよいか、暗中模索の段階だったと思います。当時作成されたガイドの講義録を改めて見ますと、歴史、文化財の講座も大山崎で実績をあげられてきた研究者がずらりと並び、対人関係や手話、ボランティア活動など、多彩な内容となっております。ただ、大山崎町が、こうした文化財の案内人制度の先駆けとなったことは画期的だったと思います。

翌 8 年に発足した大山崎ふるさとガイドの会は、現在も歴史資料館に拠点があることから、生涯学習の要素が強い特徴を持っています。資料館では、日々常設展示や企画展、講演会、子どもたちへの普及啓発活動が展開されており、常に学びと指導者育成が両立した体制が出来ていると思います。大山崎町は、町の規模

も、文化財も、コンパクトにまとまっており、こうした活動に適していると考えます。その間、雨後の筍のように、各地の観光地、自治体で、こうしたガイドの会が成立しました。向日市、長岡京市、島本町、高槻市など、近隣自治体でも形成されつつあります。

その意味で、近年はガイドの会をめぐる環境も大きく変化しております。第一に、他市町村における団体発足から、ガイドそのものが決して珍しくなくなりました。言うまでもなく、ガイドの会の発足は生涯学習や観光面で大きく寄与しています。しかし、逆に言えば、どの自治体でもガイドの会が定着し、利用されるお客様、あるいは観光業者からも珍しい存在ではなくなりました。したがって、各ガイドが有難く活用された時代から、評価、比較される段階へ移行しつつあります。説明の仕方、活動の中身、会員としての当事者意識など、日々の研修や姿勢が問われていることも自覚せねばなりません。

第二に、ボランティアの多様化、定年の延長が進展するなか、今まで通り常に新規会員が定着するか、問われています。新規会員が活動しやすい、学びやすい、魅力ある団体として、今後も継続していくことが求められています。

30 年度の養成講座は、そうした二つの課題もあわせて考えていきたいと思っております。皆様の活動について、少しでも助言と協力ができればと考えております。

7 月 9 日～9 月 8 日までの活動実績

1. 主なガイド

- ・ 7 月 15 日(日) 茶道裏千家談交会 38 名
- ・ 7 月 20 日(金) 洛和ヴィラ大山崎・出前ガイド 20 名
- ・ 7 月 26 日(木)～27 日(金) 夏休み子ども歴史教室 支援
- ・ 8 月 7 日(火) いきいきサロン南の会・出前ガイド 17 名
- ・ 8 月 18 日(土) 南円明寺丘丘連協・出前ガイド 40 名
- ・ 8 月 24 日(金) 大阪シニア自然大学校 21 名

2. 会の行事など

- ☆ 第 9 回 ふるさと案内人養成講座開講中
6 月 26 日(火)～12 月 18 日(火)・閉講式

活 動 予 定

- ☆ 主なガイド、行事予定
・ 9 月 9 日(日) 鏡田おしゃべり会・出前ガイド 4 班

- ・ 9 月 20 日(木) サニー歩こう会 2 班
- ・ 9 月 21 日(金) とよはし中日文化センター 2 班
- ・ 9 月 26 日(水) 久野木台気軽にでかけよう会 4 班
- ・ 10 月 4 日(木) 大阪府北部コミュニティカレッジ 4 班
- ・ 10 月 20 日(土) 秋の天王山ウォーキング 全班
- ・ 10 月 20 日(土) 陽泉会 2 班
- ・ 11 月 14 日(水) 大阪府高齢者大学校 2 班
- ☆ SKYふれあいフェスティバル出展
9 月 15 日(土)～9 月 16 日(日) 京都パルスプラザ
- ☆ あちこち学習山歩
9 月 18 日(火) 天王山
- ☆ 大山崎町歴史資料館 第 26 回企画展
10 月 20 日(土)～11 月 25 日(日)
「行基と山崎院」
- ☆ アサヒビール大山崎山荘美術館企画展
9 月 15 日(土)～12 月 2 日(日)

7～8 月ガイド実績

	一般ガイド		歴史資料館		おおよまぎき・なび		合 計	
7～8 月	8 件	148 人	157 件	369 人	1 件	1 人	165 件	517 人
平成 30 年度累計	52 件	1,398 人	463 件	1,313 人	64 件	188 人	579 件	2,899 人

夏休み子ども歴史教室

瓦をつくって漢字を学ぼう



7月26日、27日の2日間、夏休み子ども歴史教室が開催されました。今年のテーマは「瓦をつくって漢字を学ぼう！」です。

残念ながら初日は4人と少し淋しいスタートとなりました。まず館長から資料館の案内を受け、展示されている瓦の話を聞きました。少しむずかしい話もありましたが、工作室に戻った時、子ども達はやる気にあふれていました。さっそく自分の瓦を選び、デザインを書きます、その上を彫刻刀で少しずつ彫ってゆきます。

参加してくれた子ども達は1、2年生なので、初めての彫刻刀での作業となり、始めは恐る恐るでしたが、その内にスムーズに使い始めました。皆、真剣な顔つきで楽しくなってきたところで1日目終了です。

2日目は3～6年生も加わり、彫刻刀や大きな釘を使

い大きな字を彫っていく子、小さな模様をちりばめる子、家紋を彫る子と楽しい作品が2時間ほどで出来上がりました。

暑い中、忙しい時期にもかかわらず、2日間淡路島から来て下さった瓦の職人さん、窯元さん、ありがとうございました。作っていただいた見本を子ども達が代わる代わる見に行き、嬉しそうに机に向かう姿は、本当に楽しそうでした。ガイドの会の大人たちも、子どもに負けじと彫刻刀をふるいました。一人ひとり写真を撮ってもらって窯元さんにお渡ししました。8月中旬位に焼き上がるのが楽しみです。

ほんとうに今年の猛暑の中参加して下さった子ども達、有難うございました。猛暑の中、参加いただいた方々にお礼申し上げます。

(4班 北 美千代 記)



作品を手にハイポーズ

天下分け目の天王山

山崎合戦の地を歩く



6月2日(土)「阪急京都線沿線観光あるき」主催で大山崎町政策総務課依頼のガイドを行いました。

6月13日は「山崎合戦」の日、この歴史に因み今年度も多くの歴史ファン(26名)が参加されました。

好天の9時30分に集合後、2組に分かれて、歴史資料館では待庵の模型や古文書「禁制」の話をし、宝積寺を經由して天王山の旗立松展望台などで「山崎合戦」の陶板画を利用して「中国の大返し」や「山崎合戦」の登場人物の話などを聞いて頂きました。

昼食後は東黒門跡を通り夢ほたる公園の古戦場跡碑では、天王山や大山崎の風景を見ながら、合戦の陣形や経過、光秀の作戦や誤算の話などを行い、参加者も多くの皆さんより楽しかったの声がありました。

最後の光秀本陣跡で感謝の言葉をいただき、サントリ予約時間の午後3時の到着となりました。

(2班 栃尾 勉 記)

トピックス

ふるさと案内人養成講座開講中



始まる前は受講者が集まるか心配していましたが、7月には40名に達しました。町内だけでなく、近隣の市、町、京都市内からも参加されています。

3年に1度のこの講座は、一般公開講演会を含め、30回の充実した歴史文化講座です。資料館館長の御指導、教育委員会生涯学習課の御支援を頂き、ふるさとガイドの会養成講座実行委員会が中心になって運営します。特に今年は受講者の皆様とガイドの会の会員が共に学び、楽しんで頂けるようにと頑張っています。

第3回の「出前ガイド」では、日頃やっている電子紙芝居を使った大山崎の説話や観光案内などを演じて紹介したり、第5回の「資料館ガイド」は各班の比較的新しい会員がそれぞれ受講者の皆様とお話ししながら展示物をご案内しました。秋には会員がガイドをする現地学習もあります。ご期待下さい。

(養成講座実行委員会 守 きみよ 記)

あちこち学習山歩

阿武山～摂津峡



5月28日(土)参加者13名、2班村田さんの案内で阿武山古墳～摂津峡学習山歩。1934年京大の地震観測施設の建設中に偶然発見、盛り土はなく浅い溝で円形墓域が形成された墓室は中心のすぐ下にあり切石で組まれ内側を漆喰で塗り固められ内部の棺は何重もの布で外は黒漆、内部は赤漆で塗られた夾紵棺(きょうちょかん)が日本で初めて発見、国の史跡に指定された。被葬者は藤原兼足とされる説が有力です。

墓室を見分けたあと頂上281.1mを超え茨木変電所、関西大学前を經由して摂津峡東海自然歩道を通り昼食、歓談もそこそこに摂津峡の川辺りを散策。

白滝や自然豊かな景観を楽しみ摂津峡公園バス停から帰路についた。前回も芥川山城跡を見学学習、身近にありながら知らなかった史跡を拝観学習でき良かったです。

(1班 奥西 正明 記)

トピックス

旗立松展望台が整備されました



木立伐採前



木津川、男山が視界に入る

伐採後

天王山ハイキングコースには幾つかの展望処があります(竹林のこみち、青木葉谷、旗立松、山頂、奥の山等)。中でもこの「旗立松展望台」は主要なポイントと言えます。即ち、眼下には交通の要衝としての高速道路、新幹線、国道等が一望出来、何と言っても往時の天王山古戦場に思いを馳せる場でしょう。

その展望は左の桃山城辺りより右の男山団地にまで広がるものです。OFGはこの展望を気にかけて、先に紹介の左側は竹の伐採で展望を改善済です。続き右側もと意欲湧くものでした。先ず立木処置の可否を役場に問い合わせ認可を得ました。又々竹林ボランティアの協力を得て写真の如く伐採して素晴らしい展望を開きました。どうぞお楽しみを!

(3班 藤原 琴二 記)